

学 校 概 要

◇創立 昭和48年5月1日 ◇校長名 田中秀仁 ◇副校長名 江波千晶 ◇学級数 8クラス ◇児童数 161名
◇小中ブロック校名 上飯田中学校・上飯田小学校・飯田北小学校・いちょう小学校

学 校 教 育 目 標

○ よく学び よく遊び よく育つ いちょうの子
(知)・自分の思いや願いを実現するために、課題や困難な事態に進んで関わり、くじけず努力する子を育てます。
(徳)・子どもが互いの違いを認め合い、共に生きていこうとする姿勢を育てます。
(体)・基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活をつくり出そうとする姿勢を育てます。
(公)・わがまち「いちょう」のよさに気付き、地域と進んで関わろうとする姿勢を育てます。
(関)・多くの人との関わりの中で、広い視野に立ったものの見方や考え方を身に付けようとする子を育てます。

学 校 経 営 中 期 目 標

○ だれもが安心して豊かに生活できる学校をめざします。
◆多文化共生の学校づくりを推進します。 ◆学力の向上を目指します。 ◆個に応じた指導に力を入れます。
◆すすんで元気よくあいさつができるようにします。 ◆命を守るための指導や防犯対策を積極的に推進します。
◆横浜型小中一貫教育の推進のため、ブロック校で連携します。◆教職員が互いに切磋琢磨する職場にします。

学校経営 中期目標 設定理由	・いちょう小学校の特色の一つは、外国につながる児童が多く在籍していることです。そこで、本校では「外国につながる児童が安心して生活できる学校は、全ての児童が安心して生活できる学校である」との想いのもと、全職員で児童一人ひとりを見つめ、見守り、指導・支援していくことを確認し、実践しています。さらに、児童の将来を考えたとき、基礎学力の定着が不可欠であると考え、一人ひとりに確かな学力を身に付けるため、徹底した少人数指導を実施し、合わせて教員の指導力も高めたいと思います。
----------------------	---

小中一貫教育推進ブロック目標

共通目標	・上飯田中学校ブロックの児童生徒の「だれもが」「安心して」「豊かに」学校生活を送れるように、地域と共につくる多文化共生の学校づくりをめざします。そのために、人権教育における小中連携を重視し、9年間で『国籍や民族の違いによって、いじめられたり、差別されたりせず、自らのルーツに自信と誇りをもち、自己肯定感をもって、思いや願いを実現していく』児童生徒を育てます。
自校の取組	・外国につながる児童が全校の約70%在籍している現状から、違う言語環境、文化、習慣、宗教等を有することを前提に、その児童が安心して生活できる多文化共生の学校づくりをめざし、「全職員による協力指導体制＝全校T.T」を基盤にきめ細やかな指導を行います。

共 通 取 組 内 容

確かな学力	豊かな心	健やかな体
・徹底した少人数指導によって、「伝え合う力を育む」ための言語活動や読書活動等の充実を図り、主体的に語彙を獲得する姿勢を育てます。	・多文化共生の学校づくりをめざして、全ての教育活動を通して、自他を大切にする心情や態度を育てます。	・学校・家庭・地域が一緒になって、「早寝、早起き、朝ごはん」を推進し、一校一実践運動の「なわとびやマラソン」を通して、体力向上を図ります。

重 点 取 組 分 野

特別支援教育	児童・生徒指導	保護者・地域 連携
・特別な支援が必要な児童について、個別の教育支援計画や個別の指導計画を立て、全ての教職員がかかわりながら、一人ひとりにきめ細やかな指導を行います。	・違う言語環境、文化、習慣、宗教等を大切にし、一人ひとりが安心して生活できる多文化共生の学校づくりをめざし、きめ細やかな指導を行います。	めざし、地域行事に積極的に参加していきます。また、学校説明会やまち懇、懇談会等を通して、学校経営方針を発信し、教育活動への協力を求めます。

人 材 育 成 ・ 組 織 運 営

・全職員参加の「朝の打ち合わせ」や「職員会議」「校内重点研究」「学年ブロック研究会」等を活用して情報の共有や目指す方向性等の共通理解を図り、組織として互いに支え合い、磨き合う職場にします。そのために、管理職・教務が中心となって、日常的な学習支援や児童指導等に関する様々な協力・支援の内容・方法を検討し、実践を支援していきます。また、メンターチームの活動やミドルリーダーの育成等も含めた校内研修の計画的な実施により、不祥事防止、危機管理、児童指導等、教師力を高めます。